

7/6(木) ルター派コラールの始まりと発展
Kyrie, Gott Vater in Ewigkeitを例に

マルティン・ルターによって始められた宗教改革はさまざまな面を持っていますが、その中でも、礼拝の改革は、その後のドイツに大きな影響を与えることになります。

ルターは、礼拝に集った人々が自国語で歌うことを回復しました。ルターとその協力者たちは、新たな歌詞と曲を作りましたが、同時に、それまでに存在していた典礼文や旋律を基に、ドイツ語の歌も生み出しました。

このフォーラムでは、それらの中から“Kyrie, Gott Vater in Ewigkeit”(キリエ、永遠の父なる神よ)を取り上げ、前史とその後の展開を概観し、その意義付けと解釈を試みます。

※一般参加可、申し込み不要

■発題: 水野 隆一 氏

関西学院大学神学部教授、RCCセンター長

■日時: 7月6日(木) 17:10~18:40

■場所: 関西学院西宮上ヶ原キャンパス
吉岡記念館3F会議室1

■問い合わせ:

関西学院大学キリスト教と文化研究センター(RCC)
TEL: 0798・54・6019

7/23(日) 手話言語研究センター
講話会 & ワークショップのご案内

関西学院大学手話言語研究センターでは、講話会とワークショップを下記の通り開催いたします。

※一般参加可、参加費無料、申し込み必要

■日時: 7月23日(日) 13:30~16:30(受付 13:00~)

■場所: 関西学院大学大阪梅田キャンパス 10階 1004室
大阪市北区茶屋町19-19アプローズタワー10階

■内容:

関西講話会:『近代聾史について知ろう』

・講演

ー古河太四郎、日本初の手話考案者か?

ー大阪における聾啞成人の会合、髪結場とは? など

講師: 新谷嘉浩(近畿聾史研究グループ代表)

・対談

講師: 新谷嘉浩(近畿聾史研究グループ代表)

モデレーター: 今西祐介(総合政策学部助教)

* 手話通訳および要約筆記が付きまます

ワークショップ:『日本手話を楽しもう』(初心者対象)

・講師: 小北悦子(元関西学院大学非常勤講師
関西日本手話研究会)

■申し込み: 手話言語研究センターHPより

http://www.kwansei.ac.jp/c_shuwa/

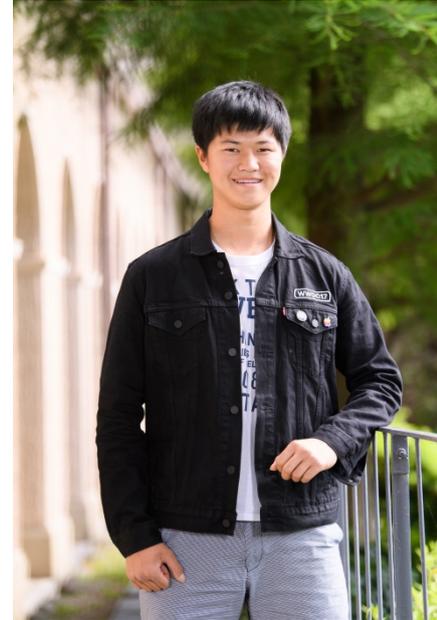
■問い合わせ: 関西学院大学手話言語研究センター

TEL: 0798-54-7013 FAX: 0798-54-7014

Email: slrcenter@kwansei.ac.jp(手話言語イベント受付)

プログラミングを始めてわずか数か月で
世界開発者会議に招待

文学部1年生の林大翔(ひろと)さんは、6月5日から9日にかけて開かれた、世界中の開発者や技術者を対象にしたApple主催のイベント「Worldwide Developers Conference(世界開発者会議:WWDC)」にスカラシップ(奨学金制度)枠として招待されました。WWDCは世界中の有名IT企業の技術者ら5千人が集まり、新製品の発表や情報交換などが行われる大規模なイベントです。



関西学院高等部出身で、プログラミングを始めたのは約半年前。高等部数理科学部の宮寺良平教諭に勧められ、同部が開いたプログラミング講座に参加したのがきっかけでした。「知識は全くなかったが、勉強していくうちにはまっていった」と話すように、そこからはどんどんと力を付け、応募に必要なゲームアプリは、アイデアなども含め、わずか3か月で完成させました。現地では技術者やデザイナーと話す機会があり、自身が作ったアプリの改善点を聞き、利用者の視点に立ったアドバイスをもらうなど充実した時間を過ごしました。また、現地では、関西学院同窓会支部の同窓生とも出会い、「起業などについて話を聞くことができ、大きな刺激を受けた」と話します。

文学部では、心理学を学び、部活は高等部生の頃からアメリカンフットボール部に所属。プログラミングの勉強は休みの日や空き時間を利用して続けています。「一番頑張りたいのは部活。大きな試合で活躍できる選手になりたい。もちろん勉強も続けて、将来は大学院に進み、チャンスがあれば起業したい」と目を輝かせます。